

私の助けは主からくる

詩篇121篇



2024年を振り返って・・・

あたり前だったことが一変してしまうと、価値観も一変してしまう。
本当に大切なものは何か。今まで考えもしなかった事に心を留めるようになる。

私は山に向かって目を上げる。私の助けはどこから来るのだろうか。

私の助けは天地を造られた主から来る。【1～2節】

自分の助けがどこから来るのか、それを知っている人は幸せ。

♪主はあなたを守る方 韓国で生まれた賛美

詩篇120～134篇「都のぼりのうた」

エルサレムへ礼拝を捧げに行く旅路で歌われた歌

【小田よしこさんの証し】

苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。わたしはそれであなたのおきてを学びました。

詩篇119：71

私は山に向かって目を上げる。

礼拝の場を目指した人々が見上げていた「山」とは・・・？

自分が今まで礼拝をささげた、その場所

エルサレムまで礼拝しに向かう道のりで、都上りの歌を歌いながら、
民は向かった。既に心は礼拝へ向けられていた。

◆礼拝は、家を出て教会へ向かう道のりから始まっている。

【アブラハムが息子イサクを捧げる】 創世記 22 章
アブラハムにとって大きな試練！



- ・ 神様が用意して下さっていた、角を藪にひっかけている雄羊を見つけ、イサクの代わりに捧げた。
その場所の名：アドナイイルエ・主の山には備えがある

信仰によってアブラハムは試みられたときイサクを捧げました。彼は約束を与えられていましたが、自分のただひとりの子を捧げたのです。神はアブラハムに対して、イサクから出るものが子孫と呼ばれるといわれたのですが、彼は神には死者の中からよみがえらせることもできる、と考えました。それで彼は、死者の中からイサクを取り戻したのです。これは型です。 ヘブル 11：18、19

イサクを捧げるために登ったのは、「モリヤの山」
後にダビデの子、ソロモンが神殿を建てた場所。
(参照：Ⅱ歴代誌 3：1)

◆ 私たちが捧げる礼拝で心に迫る偉大な奇跡は、イエス様の「十字架」「葬り」「復活」

「これは型です」・・・「型」=イエスキリスト

信仰の試練の中でアブラハムが見出したのは「復活の希望」。アブラハムはイサクは復活するという信仰をもってモリヤの山に上った。
その後、今度は神の御子キリストが、全人類の罪を取り除くために十字架に架けられた。

モリヤ・・・「神は見られる」

主はあなたの足をよろけさせず、あなたを守る方はまどろむこともない。

「守る方」=「寝ずの番」 出エジプトの時、神が寝ずの番をされた。

この夜、主は彼らをエジプトの国から連れ出すために寝ずの番をされた。 出エジプト 12：42

ついうっかり見過ごすことはない！

一瞬たりとも私たちから目を離すことがない！